

遺伝看護専門看護師 分野特定に向けた動き

I：専門看護師とは？

専門看護師（CNS）制度は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた専門看護師を社会に送り出すことにより、保健医療福祉の発展に貢献し、併せて看護学の向上をはかることを目的としています。

◆高度実践看護師コースのご案内
（新潟大学のサイトより）

<http://www.clg.niigata-u.ac.jp/kenkyuka/tokushoku-kyoiku/>

◆専門看護師ってどんな資格ですか？

http://nintei.nurse.or.jp/nursing/wp-content/uploads/2016/04/leaflet_CNS2016.pdf

◆専門看護師への道

http://nintei.nurse.or.jp/nursing/wp-content/uploads/2016/01/CNS_miti-201601.pdf



II：遺伝看護専門看護師 誕生までの進捗状況

日本看護協会による、専門看護師専門看護分野特定審査が必要。

1. 大学院博士前期課程：遺伝看護コースの開設。
（一般社団法人日本看護系大学協議会が認定する）

⇒現在、東海大学、聖路加国際大学認定。
新潟大学（申請中）

2. 認定された大学院修了者が3名以上
（社団法人 日本看護協会が、遺伝看護専門看護師の分野を特定する）

⇒2016年3月末 **遺伝看護専門看護師 分野特定申請中！**

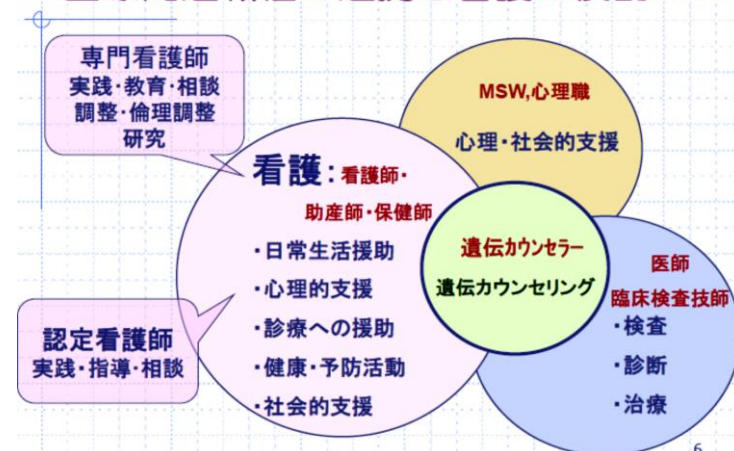
今はこの段階。したがって、まだ「遺伝看護専門看護師」は誕生していない。

III：遺伝看護専門看護師とは？

遺伝看護専門看護師は、遺伝医療において専門看護師の機能を果たす。すなわち「複雑な健康問題を有する人々にケアとキュアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる」役割を担う。

ケア提供の場は、外来・病棟など幅広く、遺伝との関連の中で健康問題を捉え、看護の役割である日常生活援助、診療の補助と共に疾病・症状管理等を含む専門的看護実践を行う。

医療関連職種連携と看護の役割



溝口満子氏より許可を得て使用

遺伝看護専門看護師の役割

役割・機能	遺伝看護専門看護師
1.個人、家族及び集団に対して卓越した看護を実践する。（実践）個人、家族及び集団に対して卓越した看護を実践する。（実践）	複雑で対応が困難な課題を抱える患者・家族の、病気とその背後にある不安や葛藤等の様々な要因を総合的に捉え、どのような看護が必要か判断して実践 ----- 遺伝カウンセリング実践
2.看護者を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う。（相談）看護者を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う。（相談）	看護ケアの一貫性、継続性のため病棟・外来・地域の看護職に対するコンサルテーションを行う。 ----- 遺伝医療の視点から関連職種のコンサルテーションを行う。
3.必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々の間のコーディネーションを行う。（調整）必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々の間のコーディネーションを行う。（調整）	遺伝的問題に対するケアが円滑に行われるためのコーディネーションを行う。 ----- 遺伝性疾患の診療、症状コントロール等に関わる診療科や地域の保健医療福祉の多職種間のコーディネーションを行う。
4.個人、家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決をはかる。（倫理調整）個人、家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決をはかる。（倫理調整）	遺伝情報の活用、治療方針の決定等の診療に伴う倫理的な問題や葛藤の解決を図り、患者・家族の思いを尊重して治療や療養が行えるように調整的役割を担う。
5.看護者に対しケアを向上させるため教育的役割を果たす。（教育）看護者に対しケアを向上させるため教育的役割を果たす。（教育）	遺伝的な心理・社会的課題に対する教育的役割を担う。 ----- 遺伝性疾患の診療や症状コントロール等、身体的課題に関する教育的役割を担う。
6.専門知識及び技術の向上並びに開発をはかるために実践の場における研究活動を行う。（研究）専門知識及び技術の向上並びに開発をはかるために実践の場における研究活動を行う。（研究）	遺伝看護研究 ----- 遺伝カウンセリング研究